

## ・♪・♪・病院内訪問学級の学習活動について・♪・♪・

小学生は国語・算数・社会・理科（低学年は生活）、中学生は国語・数学・社会・理科・英語、高校生は国語、数学、地歴・公民、理科、英語を中心に学習を進めていますが、本学園は特別支援学校のため、「自立活動」も学習活動全般の中で行っています。平成30年度は、東京都現代美術館との連携授業で「みんなとつながる空の色～自分の心の色～」に取り組みました。活動内容は、①インスタントカメラで空の写真を撮る ②色鉛筆で今の自分の気持ちを色で表現して、「心の色カード」を作成する ③「心の色カード」について教員と話をする、という内容です。この活動は、空の色が変化するように、自分の気持ちも変化するという意識することで、今、つらい治療を行っていることや、地元校の友達や家族と離れて悲しい思いをしている中でも、楽しい気持ちや嬉しい気持ちもあることに自分で気づくことができる活動です。そして、気持ちの変化に気付くことで自己理解が深まり、治療や学習に前向きになること（←「心の色カード」生徒作品）とができます。

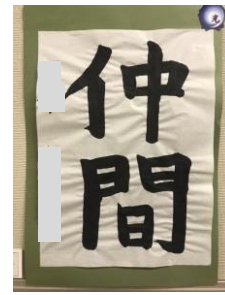
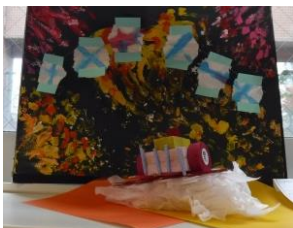


### ←（現代美術鑑賞会）（夏休み教室「モバイル」生徒作品→

さらに、夏季休業中には、平成30年度は7月に3日間、8月に3日間「夏休み教室」を実施しました。造形的活動としてスライムで作った「光のカーテン」や木工用ボンドで作った「キラキラモバイル」、文学的活動として「おもしろ川柳作り」、音楽的活動としてハンドベルなどの楽器演奏や合唱、さらに「現代美術鑑賞会」も実施しました。この現代美術鑑賞会は、テレビ電話機能や分身ロボットを使い、複数の病院を繋いで東京都現代美術館の学芸員の方と一緒に活動を行いました。夏休み教室では、普段は交流することが難しい異学年が、学年や学部を超えて関わりをもつ良い機会となっており、笑顔あふれる楽しい時間になっています。

### （光書展 受賞作品）

#### （光美展 展示作品）



他にも、2学期の「光美展」では、図画工作や自立活動で制作した力作を本校やそよ風分教室で展示したり、3学期の「光書展」では、新学期の最初の授業で書き初めを行ったりすることで、個別学習中心になりがちな病院内訪問学級の児童生徒も、光明学園の仲間としての「つながり」がもてる活動を積極的に行っています。

